

派川那賀川における紙塗工用塗料排水流出について

平成20年1月21日20時頃、王子製紙(株)富岡工場より、工場一斉休転に伴う作業中に塗工機の塗料洗浄水を工場総合排水に流出させ、排水口付近の派川那賀川に白濁が発生しました。

国土交通省那賀川河川事務所では、21日23時20分頃に王子製紙(株)富岡工場より連絡を受け現地を確認しましたが白濁は確認されませんでした。

また、本日(22日)8時30分より派川那賀川、桑野川を巡視した結果、水の白濁や魚の浮き上がり等は確認されませんでした。

[王子製紙(株)富岡工場からの情報]

事故発生場所

派川那賀川右岸 - 0km4付近(阿南市豊益町) [位置図\(PDFファイル\)](#)

推定原因

排水処理受入タンク液面異常、若しくは上限警報設定ミス。

流出物質

白色無機顔料(炭酸カルシウム、粘土鉱物等)と接着剤の混合物で、紙表面に塗って光沢、印刷特性等を付与するもの、人体に対して有害性はなし。

排水処理受入タンクよりの流出量:約80m³

今後の対応

排水処理受入タンク液面上限設定修正

受入パイプ閉止自動化

平成20年1月22日

問合せ先

国土交通省 那賀川河川事務所
電話 (0884)22-6461

副所長 藤岡 康男 内線(204)

管理課長 湯浅 喜久一 内線(331)

排水流出位置図

